

# 平成29年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

## 音楽

	指導のめあて	授業改善の視点
1 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 範唱を聴いて歌う活動に親しみ、拍の流れによって曲の気分にあった表現ができるようにする。また、楽器の扱い方や演奏の仕方に慣れ、鍵盤の位置を理解できるようにする。</li> <li>・ 拍によって、体を動かしながら曲の気分を感じ取って聴く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書と歌集を活用し、楽しい歌に親しむように、表現方法を指導する。</li> <li>○児童が意欲的に学べる教材を選択し、タンギングや指遣いなど、基本的な奏法が身に付くように繰り返し指導する。</li> <li>○リズム打ちや音遊びなどを通し、反復やリズム、フレーズなど音楽を特徴付けている要素を感じ取れるようにする。</li> <li>○鑑賞では体を動かしたり、聴き比べをしたりして、くり返し聴きながら、音楽を特徴付けている要素に気付くようにする。</li> </ul>
2 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 範唱を聴いて歌ったり、階名模唱したりする活動を中心に、曲の気分を感じ取り思いをもって演奏をできるようにする。</li> <li>・ 常時活動を工夫し、音遊びや簡単な音楽づくりの活動を取り入れる。</li> <li>・ 体を動かす活動を取り入れ、楽曲の気分を感じ取ったり、音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取ったりして聴くことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歌唱や階名の模唱の活動は継続して行い、積み重ねを行う。音楽を形づくっている要素に気を付けて演奏したり、聴き取ったりする活動を通して表現を工夫する楽しさを味わうことができるようにする。</li> <li>・ 声や身の回りの音を使った活動を通して音遊びに親しみ、音への関心を高めるようにする。</li> <li>・ 鑑賞の活動は、くり返し聴いたり、関連教材を聴いたりし、音楽を聴く楽しさを味わえるようにする。聴いて感じたことを発表、追発問、板書の工夫などで互いに確かめることができるようにする。</li> </ul>

3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な音楽経験を通し、音楽に関心を持ち、音楽を形づくっている要素に気付き、関連させながら、もっと～ふうに表示を工夫したいという思いや意図をもって学習に取り組めるようにする。</li> <li>・〔共通事項〕を核とした題材構成、学習のめあてを明確にし、授業を展開する。ユニバーサルデザインの視点に立った授業改善をめざす。</li> <li>・鑑賞の機会を多く設定し、聴いて感じ取ったことを、要素や音楽の構成に関連付け、体を使って表現したり言葉で表現したりできるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の声や伴奏など、常に音を聴いて表現することを意識するようにし、合わせて演奏する楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・リコーダーは一人一人の演奏をよく聴き、基本的な奏法が確実に身に付くようにする。</li> <li>・児童の心情・発達段階に合った教材の選択、指導の展開の工夫を行う。</li> <li>・常時活動を工夫し、幅や広げ、簡単なふしづくりや即興的な表現などの音楽づくりを行う。</li> <li>・鑑賞と表現の活動を関連付け、音楽を形づくっている要素や音楽の構成に気付き、体や言葉で表すことができるように、発問、追発問、ワークシートを工夫する。</li> </ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な音楽経験を通し、音楽に関心を持ち、音楽を形づくっている要素に気付き、関連させながら、もっと～ふうに表示を工夫したいという思いをもって学習に取り組めるようにする。</li> <li>・〔共通事項〕およびユニバーサルデザインの視点に立ったどの子も楽しめる授業と学習のめあてを明確にした授業をめざす。</li> <li>・鑑賞の機会を多く設定し、めあてをはっきりもって、何回もくり返し聴くようにする。そして、聴き取ったこと、感じ取ったことを、要素や音楽の構成に関連付け、言葉で表現できるようにする。また、音楽づくりの活動に生かせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の声や伴奏など、常に音を聴いて表現することを意識するようにし、合わせて演奏する楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・リコーダーは一人一人よく聴き、基本的な奏法が身に付くようにするとともに、学習形態を工夫し、友達とかかわりをもって活動し、自分たちでつくり上げようという気持ちを育てるようにする。</li> <li>・児童の心情・発達段階に合った教材の選択、指導の展開の工夫を行う。</li> <li>・音遊びやリズム打ちなど常時活動を通し、音楽づくりの芽を育てる。簡単なふしづくりや即興的な表現を楽しみ、音楽の仕組みやアイデアをもとに学習を展開できるようにする。</li> <li>・鑑賞と表現の活動を関連付け、音楽を形づくっている要素や音楽の構成に気付き、言葉で表すことができるように、発問、追発問、ワークシート、板書を工夫する。</li> </ul>

<p>5年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な音楽経験を通し、音楽に関心をもち、意欲的に活動ができるようにする。常に音楽を形づくっている要素に気づき、関連させながら、もっと～ふうに表現を工夫したいと一人一人が思いをもって学習に取り組めるようにする。</li> <li>・アルトリコーダーは、一人一人奏法を確認しながら、能力を伸ばすようにする。</li> <li>・〔共通事項〕を核にユニバーサルデザインの視点に立った授業改善を行い、どの子もわかる授業を目指す。また、児童の発想や今までの経験を生かし、工夫した音を出したり即興的に音を表現したりしながら音楽をつくったりする。</li> <li>・表現と鑑賞の関連を図り、めあてをはっきりもって、聴くようにする。聴き取ったことや感じ取ったことを要素や音楽の構成に関連付け、言葉で表現できるようにする。また、音楽づくりの活動に生かせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の声や伴奏など、常に音を聴いて表現することを意識するようにし、合わせて演奏する楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・5年から導入したアルトコーダーは、基本に戻り、一人一人が確認をしながら、自信をもって演奏ができるようにする。また、学習形態を工夫し、友達とかかわりをもって活動し、自分たち思いや願いをもって演奏しようという気持ちを育てるようにする。</li> <li>・児童の心情・発達段階に合った教材の選択、指導の展開の工夫を行う。</li> <li>・音楽づくりでは、掲示やワークシートを工夫し、自分たちで活動を進めることができるようにする。教師が積極的に児童の工夫を認め、全体に広げ、次の活動につなげていくよう支援を行う。</li> <li>・鑑賞と表現の活動を関連付ける。鑑賞はねらいに合わせ映像も用意し、目と耳で確認し、さらに音楽への興味・関心を高めるようにする。音楽を形づくっている要素や音楽の構成に気づき、言葉で表すことができるように、発問、追発問、ワークシート、板書を工夫する。</li> </ul>
<p>6年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な音楽経験を通し、音楽に関心をもち、意欲的に活動ができるようにする。常に音楽を形づくっている要素に気づき、関連させながら、もっと～ふうに表現を工夫したいと一人一人が思いをもって学習に取り組めるようにする。</li> <li>・〔共通事項〕を核にユニバーサルデザインの視点に立った授業改善を行い、どの子もわかる授業を目指す。また、児童の発想や今までの経験を生かし、工夫した音を出したり即興的に音を表現したりしながら音楽をつくったりする。</li> <li>・表現と鑑賞の関連を図り、めあてをはっきりもって、聴くよ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の声や伴奏など、常に音を聴いて表現することを意識するようにし、合わせて演奏する楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・学習形態を工夫し、友達とかかわりをもって活動し、自分たちでつくり上げようという気持ちを育てるようにする。</li> <li>・児童の心情・発達段階に合った教材の選択、指導の展開の工夫を行う。</li> <li>・音楽づくりでは、掲示やワークシート、発表の仕方を工夫し、互いを自分たちで活動を進めることができるようにする。</li> <li>・鑑賞と表現の活動を関連付ける。鑑賞はねらいに合わせ映像も用意し、目と耳で確認できるようにする。音楽を形づくっている要素や音楽の構</li> </ul>

	<p>うにする。聴き取ったことや感じ取ったことを要素や音楽の構成に関連付け、言葉で表現できるようにする。また、音楽づくりの活動に生かせるようにする。</p>	<p>成に気付き、言葉で表すことができるように、発問、追発問、ワークシートを工夫する。</p>
--	--	---